

第 9 章 異常水質事故発生状況

I 概要

異常水質事故とは、公共用水域に汚水、廃液、油等が排出又は廃棄され、水質の著しい汚濁やそれらによる魚介類等への被害が発生することをいう。

異常水質事故の発生場所や原因等により関連部署は多岐にわたっており、本市では、平成6年に策定した「川崎市異常水質事故対策要領」に基づき対応している。

II 対象事故

環境局水質環境課で把握した魚死亡、油浮遊等の異常水質事故

III 発生状況

1 異常水質事故発生件数

(1) 種類別事故発生件数

平成29年度に発生した異常水質事故は38件であった。前年度の43件と比べ5件減少した。異常水質事故の種類別では、油浮遊が14件と最も多く、次いで着色水が12件、濁水が3件、魚死亡が3件、pH異常が2件、地下浸透が1件、その他が3件であった。

(2) 水系別異常水質事故発生件数(表IX-1)

水系別では、東京湾で12件、多摩川水系で18件、鶴見川水系で8件の異常水質事故が発生した。

東京湾で発生した異常水質事故は、油浮遊が6件、濁水が1件、pH異常が2件、地下浸透が1件、その他が2件であった。

多摩川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡3件、油浮遊が6件、着色水が7件、濁水が1件、その他が1件であった。河川別では、三沢川で2件(魚死亡1件、油浮遊1件)、平瀬川で4件(魚死亡1件、油浮遊2件、濁水1件)、二ヶ領本川・用水で2件(油浮遊1件、着色水1件)、五反田川で4件(着色水4件)、その他(水路で発生した水質事故等)で6件(魚死亡1件、油浮遊2件、着色水2件、その他1件)であった。

鶴見川水系で発生した異常水質事故は、油浮遊が2件、着色水が5件、濁水が1件であった。河川別では、矢上川で3件(着色水2件、濁水1件)、有馬川で1件(油浮遊1件)、渋川で1件(油浮遊1件)、早野川で1件(着色水1件)、片平川で2件(着色水2件)であった。

表IX-1 水系別異常水質事故発生件数

水系 \ 種類		魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	その他の水質異常	地下浸透	合計
東京湾	川崎港運河内		6			2	2	1	11
	川崎港運河外				1				1
	小計		6		1	2	2	1	12
多摩川	多摩川本川								
	三沢川	1	1						2
	旧三沢川								
	平瀬川	1	2		1				4
	二ヶ領本川・用水		1	1					2
	五反田川			4					4
	登戸雨水幹線								
	山下川								
	六ヶ村堀雨水幹線								
	宮内雨水幹線								
	その他	1	2	2			1		6
小計	3	6	7	1		1		18	
鶴見川	鶴見川本川								
	矢上川			2	1				3
	有馬川		1						1
	渋川		1						1
	麻生川								
	早野川			1					1
	真福寺川								
	片平川			2					2
	江川								
	その他								
小計		2	5	1				8	
合計		3	14	12	3	2	3	1	38

(3) 原因別異常水質事故発生件数(表IX-2)

原因者が判明した異常水質事故は18件で、工場・事業場によるものが15件、建設工事によるものが1件、その他が2件であった。

工場・事業場に起因する15件の異常水質事故(油浮遊5件、着色水4件、濁水1件、pH異常2件、地下浸透1件、その他2件)の原因は、施設の破損が1件、作業ミスが2件、施設の管理不備が11件、原因不明が1件であった。建設工事に起因する1件の異常水質事故(着色水1件)の原因は河川改修・管理であった。また、原因不明の異常水質事故は20件で、魚死亡が3件、油浮遊が9件、着色水が6件、濁水が2件であった。

表IX-2 原因別異常水質事故発生件数

原因		種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	合計
工場・事業場	施設の破損			1						1
	作業ミス				1		1			2
	施設の管理不備			3	3	1	1	1	2	11
	火災消火									
	原因不明			1						1
	小計			5	4	1	2	1	2	15
建設工事	下水道工事									
	河川改修・管理				1					1
	水道・ガス工事									
	建築工事									
	道路工事									
	その他の工事									
小計					1				1	
船舶	施設の破損									
	作業ミス									
	施設の管理不備									
	原因不明									
	小計									
その他					1				1	2
原因不明			3	9	6	2				20
合計			3	14	12	3	2	1	3	38

2 異常水質事故発生状況の経年推移(平成6年度～平成29年度)

(1) 異常水質事故発生件数

平成6年度から平成29年度までの種類別異常水質事故発生件数を表IX-3に示す。

過去24年間の平均発生件数は38件/年であった。

表IX-3 種類別異常水質事故発生件数経年推移

種類	年度																								合計
	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
魚死亡	3	3	4	12	1	0	3	3	1	1	0	0	2	2	0	4	5	4	4	3	3	0	1	3	62
油浮遊	13	11	13	24	15	11	18	11	14	20	11	21	20	19	21	14	10	14	19	25	17	23	17	14	395
着色水	3	5	6	8	3	4	9	1	5	6	7	5	27	12	18	38	26	8	21	16	14	18	15	12	287
濁水	1	2	0	0	3	4	6	5	4	4	1	5	4	7	8	14	4	1	2	2	5	8	4	3	97
pH異常	3	2	5	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	2	26
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
その他	1	1	2	2	1	1	1	0	1	4	1	0	0	1	2	3	1	7	2	3	4	2	5	3	48
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	918

(2) 水系別異常水質事故発生件数

平成6年度から平成29年度までの水系別異常水質事故発生件数は表IX-4に示す。

水系別発生件数は、海域では京浜運河（44件）、多摩川水系では平瀬川（221件）、鶴見川水系では矢上川（131件）が最も多かった。

表IX-4 水系別異常水質事故発生件数経年推移

年度		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計	
東京湾	川崎港運河外		1		4	1	1				3	1	2	3	4	3	2	1			2	1	3	1	1	34	
	末広運河						1			1		2				1					1	1				7	
	田辺運河	2	1	2	2				2	1	1				2	2	1			1	5	1	2	1		26	
	大師運河			1			1		1	1	1	3	1	4						1	1			2	2	2	21
	京浜運河	2	2	2	3		4	2	1	4				3	1		2		1	1	1	3	4	3	4	1	44
	千鳥運河					1		2				2		2				1			1	1	2	1	5	2	20
	塩浜運河	1	3	1								1	1	1	1	1				4				1	1	2	17
	池上運河	1		1							1	2		2			1							1			9
	夜光運河		1																								1
	水江運河			1													1									1	3
	浅野運河				1					1	2	1			1			1					1		1		9
	桜掘運河					1					2						2				1						6
	南渡田運河						1								1	2										3	7
	白石運河											1	2					1				1					5
	川崎航路							1								1									1		3
	境運河													1	1												2
	多摩運河																				1	1					2
	小計		6	8	8	10	3	8	5	5	12	10	8	13	12	12	11	6	2	8	9	11	11	11	16	11	216
	多摩川	多摩川本川				3	2			1	5	2			1	5	5	5	7	2	1	4	2	2			47
		三沢川		1	1	1	3		2	1	1	1				2	2	4	1	1	1	2	2		1	2	29
旧三沢川			1								1		1									1	2			6	
平瀬川		5	4	9	7	5	5	1	4	2	6	5	6	23	8	16	34	14	10	11	11	11	15	5	4	221	
三ヶ瀬本川・用水		6	6	2	8	3	2	5	5	1	2	4	4	3	3	3	1	3	3	2	2	3	5	5	2	83	
五反田川		1			2	1	1	2	2				2	2	1		1	1	1	4	2	2	4	7	4	40	
登戸雨水幹線		1			1	1						1														4	
山下川								2								1	1	1		1						6	
六ヶ村堀雨水幹線					1			2										1		1						5	
宮内雨水幹線				1				1			1							1								4	
その他				2			2	1						1											6	12	
小計		13	12	13	25	15	8	17	14	9	13	10	13	30	19	27	48	27	17	21	22	22	26	18	18	457	
鶴見川	鶴見川本川				1	1	1	1					1		1		3		1							10	
	矢上川	2	4	4	6	4	1	5	2		10	2	2	8	6	6	10	11	7	5	9	8	11	5	3	131	
	有馬川			1	3			4		2		1		3		1	3			4	2		2		1	27	
	渋川	1		1	1			1	1	1									1							7	
	麻生川			1	3		1	1		1	1				2	3	2	4	2	3	2	2	1	1		30	
	早野川			1			1						1		1											5	
	真福寺川	1			1	1					1	1			1	1				1	2					10	
	片平川	1		1				1				1							1		1	2		1	2	13	
	江川					1		1																	1		3
その他							1												1	4		1				7	
小計		5	4	9	15	7	4	15	2	4	12	3	6	11	10	11	19	17	11	18	17	11	15	9	8	243	
地下浸透		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
合計		24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	918	

(3) 原因別水質事故発生件数

平成6年度から平成29年度までの原因別異常水質事故発生件数を表IX-5に示す。

原因不明の異常水質事故は過去24年間で平均23件/年であり、全体の61%となっている。

表IX-5 原因別異常水質事故発生件数経年推移

原因	年度																				合計					
	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25		H26	H27	H28	H29	
工場・事業場	施設の破損	1	6	2		1	2	1	2	2	1	1	2		1	1				1	2	3	2	1	32	
	作業ミス	6		3	5	2	5	7	1	2	6	4	6	5		2	2	4	1	3	1	3	4	2	74	
	施設の管理不備		4	3	5	1		5	3	4	3	1	2	3	1	1	3		3	3	9	7	2	4	11	78
	火災消火			1	1											1						2				5
	原因不明																		1			1			1	3
	小計	7	10	9	11	4	7	13	6	8	10	6	10	8	3	2	5	2	8	4	13	13	8	10	15	192
建設工事	下水道工事	1				1		1	1	1					2	1	2				1				11	
	河川改修・管理		1	1		3					1	1		1					2		1			1	12	
	水道・ガス工事									1					1	2				1					5	
	建築工事			1		1		2			1		3	1	2	3	5		2	2	3	2	1	1	30	
	道路工事				1				1	1			1				2				1	2			9	
	その他の工事														2	2				3	1				8	
	小計	1	1	2	1	5	0	3	2	3	2	1	4	4	6	5	11	0	5	5	6	5	1	1	1	75
船舶	施設の破損		1	1	3	1	2			1	3	2	1	2	1					1		1	2		22	
	作業ミス		1			1	1			2			1			1		1	2	1		1	1		13	
	施設の管理不備												1				1						1		3	
	原因不明													1									1		2	
	小計	0	2	1	3	2	3	0	0	3	3	2	2	4	1	0	1	1	1	2	2	0	3	4	0	40
その他	1	1	3	5	4	0	2	2	2	3	1	2	0	2	1	0	1	2	2	5	2	2	5	2	50	
原因不明	15	10	15	30	10	10	20	11	9	17	11	14	37	29	41	56	42	20	35	24	24	38	23	20	561	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	918	

3 異常水質事故発生状況一覧

平成29年度に発生した異常水質事故の発生状況の一覧を表IX-6に示す。

表IX-6 異常水質事故発生状況一覧

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
4/14 ・ 4/14	4/14 5/11	多摩川	五反田川	多摩区 生田			○	①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	ある事業者からの排水が白濁しているとの連絡を受け、現地調査を行った。排水は地下水のみで生活排水や薬剤等の混入はなく、白濁する原因は不明である。引き続き原因調査を行う。	関係機関が指導を行った。
5/9 ・ 5/9	5/9	多摩川	水路	中原区 宮内			○	①環境局水質環境課 環境局収集計画課 中原区道路公園センター ②なし ③上下水道局中部下水道事務所	判明 不明	中原区宮内にある水路から悪臭が発生しているとの連絡を受け、現地調査を行った。水路の上流は浄化槽を使用している事業所が多く、浄化槽排水が悪臭の原因となっている可能性が高いと考えられた。浄化槽の性能を確認したところ、性能に問題はなかった。下水道への接続が可能な事業所に対しては下水道接続を推進していく。	関係機関が指導を行った。
5/16 ・ 5/16	5/17	東京湾	扇島沖	川崎区			○	①環境局水質環境課 ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	ある事業者から、濁水(SS:140mg/L)を海域に流出させてしまったとの連絡を受けた。機械の不具合によるものであり、再発防止の指導を行った。	関係機関が指導を行った。
5/16 ・ 5/16	5/16 5/17	鶴見川	片平川	麻生区 片平			○	①環境局水質環境課 麻生区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	片平川が白濁しているとの連絡を受け、現地調査を行った。周辺の調査を行ったが、白濁が薄くなってきたため、発生源の特定には至らなかった。	
5/16 ・ 5/16	5/16	東京湾	大師運河	川崎区 千鳥町				①環境局水質環境課 ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	ある事業者から、高pHの排水を流してしまったとの連絡を受けた。作業ミスによるものであり、再発防止の指導を行った。	関係機関が措置を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
5/23 ・ 5/23	5/23	多摩川	三沢川	多摩区 菅北浦	○			①環境局水質環境課 神奈川県川崎治水センタ ー 京浜河川事務所 ②環境局水質環境課 神奈川県川崎治水センタ ー ③なし	判明 不明	三沢川でアユが大量に死んでいるとの連絡を受け、現地調査を行った。現地にて簡易水質測定を行ったが、水質に異常は見られず、また、死亡魚に体色の変化等の異変はなかった。200匹程度の死亡魚を回収した。	
6/1 ・ 6/1	6/1	東京湾	南渡田運河	川崎区		○		①環境局水質環境課 港湾局港湾管理課 海上保安庁 ②港湾局港湾管理課 海上保安庁 ③なし	判明 不明	南渡田運河に油膜が浮いているとの連絡を受け、現場確認を行った。油膜の範囲は10m程度で拡散処置を行った。発生源は不明。	
6/9 ・ 6/9	6/9	鶴見川	有馬川	宮前区 東有馬		○		①環境局水質環境課 宮前区道路公園センター 宮前消防署 宮前警察署 ②なし ③なし	判明 不明	有馬川に油が浮いているとの連絡を受け、現地調査を行った。油膜の範囲は100mくらいであり、油の種類は不明。周辺の調査を行ったが、油の流出は止まり、発生源の特定には至らなかった。	
6/9 ・ 6/9	6/9	多摩川	水路	多摩区 南生田			○	①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	多摩区南生田の道路側溝に白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、塗装工事業者が使用した道具を洗った排水を側溝に流したことがわかったため、事業者に側溝へ排水を流さないよう指導した。また、側溝に溜まった白濁水の回収を行い、側溝の清掃を行うよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	④調査 ⑤回収等対策 ⑥工場等指導			
7/13 ・ 7/14	7/13 7/14	鶴見川	片平川	麻生区 栗木			○	①環境局水質環境課 上下水道局下水道水質課 上下水道局北部下水道 事務所 ②なし ③環境局水質環境課 上下水道局下水道水質課	判明 不明	栗木調整池に白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、ある事業者の排水処理装置の配管が雨水管に誤接続されていたため、白濁水が流れたことが判明した。事業者には排水システムの工事を行うよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/28 ・ 7/28	7/28	多摩川	三沢川	多摩区 菅北浦			○	①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター 消防局多摩消防署 ②なし ③なし	判明 不明	三沢川に油が浮いているとの連絡を受け、現地調査を行ったが、現地に到着したときには既に油は流れていなかったため、発生源の特定には至らなかった。	
7/31 ・ 7/31	7/31	鶴見川	矢上川	宮前区 土橋			○	①環境局水質環境課 上下水道局下水道水質課 上下水道局西部下水道事 務所 ②なし ③環境局水質環境課 上下水道局西部下水道事 務所	判明 不明	ある事業者の前から、矢上川に白濁水が流れているとの連絡を受けたため、現地調査を行った。調査の結果、事業者の汚水ますに詰まりが発生しており、汚水が溢れて矢上川に流れたことが判明した。事業者に対して、定期的に汚水ますを清掃し、万が一汚水ますが溢れてしまった場合、汚水が河川に流れないように排水システムの指導を行った。	関係機関が指導を行った。
8/3 9/5 ・ 8/3 9/5	8/3 8/10 9/5	多摩川	二ヶ領用 水新川	高津区 溝ノ口			○	①環境局水質環境課 高津区道路公園センター 上下水道局中部下水道事 務所 ②高津区道路公園センター ③環境局水質環境課 高津区道路公園センター 上下水道局中部下水道事 務所	判明 不明	二ヶ領用水新川で油が浮遊しているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、ある事業者の排水管が雨水管に誤接続されていることが判明した。事業者には排水システムの工事及び側溝の清掃等を行うよう指導した。指導中に再度油浮遊の連絡があり、現地調査を行ったところ、当該事業者からの排水が原因であることがわかった。河川にオイルフェンスを設置したほか、側溝にオイルマットを設置して対応した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	④調査 ⑤回収等対策 ⑥工場等指導			
8/17 ・ 8/17	8/17	東京湾	千鳥運河	川崎区		○		①環境局水質環境課 消防局臨港消防署 海上保安庁 ②なし ③なし	判明 不明	千鳥運河に隣接する事業者から、運河に油が浮いているとの連絡を受け、現場確認を行った。しかし、油はすぐに消失してしまい、発生源の特定には至らなかった。	
8/19 ・ 8/21	8/21	東京湾	南渡田運河	川崎区			○	①環境局水質環境課 消防局臨港消防署 海上保安庁 ②なし ③環境局水質環境課	不明 不明	ある事業者から、場内で25%苛性ソーダ375Lを流出させてしまい、一部が渡田運河に流れたとの連絡があった。苛性ソーダ配管の一部が劣化したことにより流出したと推定される。事業者に対し、再発防止のための指導を行った。	関係機関が指導を行った。
8/23 ・ 8/23	8/23	東京湾	南渡田運河	川崎区			○	①環境局水質環境課 ②なし ③環境局水質環境課	不明 不明	ある事業者から、亜硫酸ソーダを流出させてしまったため、排水口でpHの基準値超過(最大8.9、超過していたのは2~3分)が確認されたとの連絡があった。事業者に対し、再発防止のための指導を行った。	関係機関が指導を行った。
9/1 ・ 9/4	9/1	多摩川	水路	多摩区生田		○		①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	多摩区生田にある水路に油が滞留し、悪臭が発生しているとの連絡を受け、現地調査を行った。水路にほとんど水が流れておらず、発生源と疑わしい場所も見つからなかったため、原因の特定には至らなかった。	
9/8 ・ 9/8	9/8	多摩川	五反田川	多摩区生田			○	①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	五反田川に黄土色の水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行ったが、着色水の流れが止まったため、発生源の特定には至らなかった。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
9/9 ・ 9/9	9/9	東京湾	千鳥運河	川崎区			○	①環境局水質環境課 ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	ある事業者から、冷却ラインの不調により、排出基準を超える温度の排水（最大40.2℃、8分間程度）を排出してしまったとの連絡があった。事業者に対し、再発防止のための指導を行った。	関係機関が指導を行った。
9/28 ・ 9/28	9/28	東京湾	塩浜運河	川崎区			○	①環境局水質環境課 港湾局港湾管理課 消防局臨港消防署 ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	塩浜運河に油が浮いているとの連絡を受け、現地調査を行ったが、現地に到着したときには既に油は流れていなかったため、発生源の特定には至らなかった。	
9/28 ・ 9/28	9/28	鶴見川	矢上川	宮前区 野川			○	①環境局水質環境課 宮前区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	矢上川に濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行ったが、濁水の流れが止まったため、発生源の特定には至らなかった。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	⑦調査 ⑧回収等対策 ⑨工場等指導			
10/25 ・ 10/25	10/25	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生ヶ丘		○		①環境局水質環境課 ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	事業所に別件で立入調査を行っていた職員が事業所内の雨水側溝に油膜があるのを発見した。油は廃棄物を保管するドラム缶から流出しており、側溝から公共用水域に流出したようである。事業者に対して、側溝にオイルマット設置して油を流出させないよう指導し、再発防止のための指導を行った。	関係機関が指導を行った。
11/1 ・ 11/1	11/1	多摩川	平瀬川	高津区 久地	○			①環境局水質環境課 高津区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	平瀬川で小さい魚が死亡しているとの連絡を受け、現地調査を行った。死亡魚は多摩川との合流地点から正安橋まで確認されたが、正安橋の上流では生存魚が確認された。また、パックテストやpH測定を行ったが、水質に異常は確認されなかった。これ以上の調査は難しく、生存魚も確認されたことから、調査を終了した。(本件は原因不明としたが、死亡魚はアユと見られ、産卵期を終えて自然死した可能性がある。)	
11/6 ・ 11/6	11/6	東京湾	塩浜運河	川崎区		○		①環境局水質環境課 港湾局港湾管理課 消防局 海上保安庁 ②なし ③環境局水質環境課	判明 不明	塩浜運河に油膜が浮いているとの連絡を受け、調査を行った。調査の結果、付近の事業者の排水口から油が流出したことがわかった。しばらくすると、油膜は流れてしまい、見られなくなった。現在、原因の究明や再発防止策について、事業者に指導中である。	関係機関が指導を行った。
11/23 ・ 11/23	11/24	東京湾	京浜運河	川崎区		○		①環境局水質環境課 環境局廃棄物指導課 消防局 海上保安庁 ②なし ③環境局水質環境課 環境局廃棄物指導課	判明 不明	京浜運河に油膜が浮いているとの連絡を受け、調査を行った。調査の結果、付近の事業者の排水口から油が流出したことがわかった。油は保管していた廃棄物から染み出したものであったが、油水分離槽の清掃が不十分であったため、雨が降った時に油水分離槽から溢れてしまった。油が流出しないような保管場所に改善することと油水分離槽の清掃頻度を増やすよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	⑦調査 ⑧回収等対策 ⑨工場等指導			
12/1 ・ 12/1	12/1	多摩川	平瀬川	高津区 久地			○	①環境局水質環境課 高津区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	平瀬川に濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。久地一号橋左岸の樋管から濁水が出ているのを確認したため、周辺の事業場等を調査したが、発生源を特定する前に濁水の流出が止まってしまい、発生源の特定には至らなかった。	
12/12 ・ 12/12	12/12	鶴見川	矢上川	中原区 木月			○	①環境局水質環境課 中原区道路公園センター 国交省京浜河川事務所 ②なし ③なし	判明 不明	渋川に油が浮遊しているとの連絡を受け、現地調査を行った。渋川と矢上川の合流地点及びその下流の矢上川で油膜が確認されたものの、新たな油の流出はなく、発生源の特定には至らなかった。	
12/13 ・ 12/13	12/13 12/14 12/18	多摩川	二ヶ領用 水	中原区 宮内			○	①環境局水質環境課 中原区道路公園センター 上下水道局中部下水道事 務所 上下水道局下水道水質課 ②なし ③環境局水質環境課 上下水道局下水道水質課	判明 不明	道路側溝に白濁水が溜まっているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、付近の事業所の下水管から生活排水（洗濯排水）が漏れいしていることがわかった。洗濯機の位置を移動し、漏えいを起こしている配管を使用しないよう指導した。また、来年度に事業所の工事を実施する予定であり、配管の修理を行う。	関係機関が指導を行 った。
12/15 ・ 12/15	12/15	東京湾	大師運河	川崎区 千鳥町			○	①環境局水質環境課 港湾局港湾管理課 消防局 海上保安庁 ②なし ③なし	判明 不明	大師運河に油が浮遊しているとの連絡を受け、調査を行った。調査の結果、ある船舶がバースに着岸した際に、船の周囲に油膜が確認されたため、バースを所有する事業者が本市に連絡したことがわかった。油膜は当該船舶からの漏えいである確証がなく、発生源の特定には至らなかった。油膜は自然拡散された。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	⑩調査 ⑪回収等対策 ⑫工場等指導			
1/7 ・ 1/7	1/7 2/2	多摩川	水路	多摩区 菅	○			①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター 消防局多摩消防署 多摩警察署 ②多摩区道路公園センター ③なし	判明 不明	多摩区菅にある水路で魚が死んでいるとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、鯉や小さい魚が数匹死亡しており、水路の水量は通常より少なかった。口をパクパクさせている魚もいたことから、魚死亡の原因として水位低下による酸欠が考えられた。この水路に流れる水は多摩川から取水しており、取水口は稲城市にあるため、稲城市に確認したところ、現在、取水口が壊れており、1月中旬から修理の工事を始めるとのことであった。H30.2.2に再度、現場の確認を行ったが、魚死亡等、水路に異常は見られなかった。	
1/7 ・ 1/7	1/7 1/8	多摩川	平瀬川	宮前区 初山		○		①環境局水質環境課 消防局宮前消防署 神奈川県川崎治水センター ②消防局宮前消防署 ③環境局水質環境課 消防局宮前消防署 神奈川県川崎治水センター	判明 不明	平瀬川で灯油臭がしているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、事業所の燃料タンクのバルブが破損し、A重油約800L漏えいして、一部が側溝を経由し河川に流出したことがわかった。破損したバルブの口をテープで塞いで漏えいを停止させ、タンク周辺及び側溝に流出した重油を吸着マットで回収した。事業者は翌日にバルブの修理を行った。今後はバルブを破損させないよう事業者に指導を行った。	関係機関が指導を行った。
1/9 ・ 1/9	1/9	多摩川	五反田川	多摩区 東生田			○	①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター ②なし ③なし	判明 不明	五反田川の追分橋で白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、東生田小学校付近の五反田川で工事が行われており、河床の土が巻き上げられて、白濁水が発生していることがわかった。工事排水を流出させているのではないため、排水の規制基準の超過や法令の水質事故には該当しないが、できるだけ河床の土の巻き上げを抑えて工事を行うよう依頼した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	⑩調査 ⑪回収等対策 ⑫工場等指導			
2/9 ・ 2/9	2/9	東京湾	大師運河	川崎区 浮島		○		①環境局水質環境課 ②なし ③なし	判明 不明	事業者からベンゼンを含む分解ガソリンを100Lほど漏えいさせたとの連絡があった。漏えいの原因は配管の腐食で、公共用水域への漏えいはなかったが、土壌へ一部を漏えいさせた。オイルマットで分解ガソリンを回収し、対応した。	関係機関が指導を行った。
2/26 ・ 2/26	2/26	多摩川	五反田川	多摩区 榊形			○	①環境局水質環境課 多摩区道路公園センター 環境局環境総合研究所地 域環境・公害監視課 ②なし ③なし	判明 不明	五反田川の大道橋付近で白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。調査の結果、大道橋の下にある右岸側の水路から白濁水が流れ出ていることがわかった。マンホールを開けながら上流を追ったが、調査中に白濁水の流入が止まり、発生源の特定には至らなかった。	
3/7 ・ 3/7	3/7 3/8	多摩川	水路	高津区 下野毛		○		①環境局水質環境課 高津区道路公園センター 高津消防署 ②高津区道路公園センター ③なし	判明 不明	高津区下野毛にある水路で悪臭がし、油が浮いているとの連絡を受け、現地調査を行ったが、現地に到着した時には既に上流からの油の流入がなかったため、発生源の特定には至らなかった。油は水路の窪みに溜まっており、下流に流れた形跡はなかった。水路に溜まった油はバキュームで回収した。	
3/17 ・ 3/17	3/19	多摩川	水路	多摩区 菅城下			○	①環境局水質環境課 ②なし ③なし	判明 不明	多摩区菅城下にある水路から白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。現地を確認したが、既に白濁水は流れておらず、水路に異常は見られなかったため、発生源の特定には至らなかった。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要 等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
3/23 ・ 3/23	3/23	鶴見川	早野川	麻生区 王禅寺東			○	①環境局水質環境課 麻生区道路公園センター ②なし ③なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	早野川に白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。現地を確認したが、既に白濁水は流れておらず、河川に異常は見られなかったため、発生源の特定には至らなかった。	
3/26 ・ 3/26	3/26	鶴見川	矢上川	高津区 久末			○	①環境局水質環境課 高津区道路公園センター ②なし ③なし	判明 <input type="checkbox"/> 不明	矢上川鷹巣橋の上流左岸にある水路から白濁水が流れているとの連絡を受け、現地調査を行った。現地を確認したが、既に白濁水は流れておらず、河川に異常も見られなかったため、発生源の特定には至らなかった。	
小計					3	14	21		判明：18 不明：20		
合計					38						

